



優  
秀  
賞

## カラフル

水戸市立国田義務教育学校 八年

なか もり  
中 森 ら ら

「十人十色」。この言葉の意味を辞書で調べると「考え方や好みが人それぞれ違うこと」と出てきます。つまり、十人いたら十通りの色があるということです。しかし、この世界には、たったの二色に分けられてしまうものがあります。その一つが、「性別」です。

私は日常生活で、「女の子だから」や「女の子なのに」と言われることがあります。例えば、私はかわいいものが好きです。しかしそれは、「私が女の子だから」好きなのではなく、「私がかわいいものをいいな、と感じるから」好きなのです。他にも、女の子は甘いものやピンク色が好き、大人しいなどと性別で決めつけられてしまうことは多いと思います。でも、甘いものやピンク色が好きな男の子や、元気に活動するのが好きな女の子だっています。また

目に見えるものだと、服装が挙げられます。ズボンをはいたりかっこいい服装の女の子はいるけれど、スカートをはいたりかわいい服装の男の子はあまりいません。男の子がスカートををはいてはいけないというルールはありません。でも男の子がスカートををはくことはほとんどありません。このように、性別によって、好みや見た目、行動などと制限されてしまうことは多いと思います。

そこで、これからどうしていけばよいのか考えました。たくさんさんの資料を見て、たくさん考えて、私は一つの結論にたどりつきました。それは、「男らしさ」や「女らしさ」ではなく、「自分らしさ」を一番に考えるというものです。しかし、これは簡単なことではありません。なぜなら、周りの人からの見え方が気になってしまうからです。私も日

常生活で「周りの人からどう見えるか」とつい気にしてしまいます。他の人と違うと、目立つから、浮くから、いじめられるから、と周りの人からの見え方ばかり気にしてしまい、好きなものを抑えたり、「自分らしさ」を失ってしまったりすることはとても悲しいことだと思います。

最近、「LGBTQ+（プラス）」という言葉をよく聞くようになりました。レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニングの頭文字をとった言葉です。他にも、どの性にも恋愛感情を抱かない人をアセクシャルといたり、体の性が生まれつき一部異なる人をDSDsというなど、他にもいろんな言葉があります。

今や、約十三人に一人といわれている性的マイノリティ。これは左利きの人の割合とほぼ同じです。つまり、私の周りにもいるということです。決して「他人事」ではありません。私の発言で誰かに嫌な思いをさせていたかもしれない。やはりここでも、「自分らしさ」が大切になると思います。

これから、さらに「多様性」ということが大切にされていくと思います。多様性とは、みんな違ってみんないい、「自分らしさ」を大切にすることだと思います。それは性別も一緒です。たったの二色にする必要なんてありません。

ん。いろんな色があって、混ざって新しい色ができます。それをお互いに認めて尊重しあえる「十人十色」。いつまでも「自分らしさ」を大切にしていって、みんなが笑顔ですごせる世界に、少しずつでも、近づいていくことを願います。

